

## 近畿雑草研究会ニュースレター No.22

近畿雑草研究会

### ご挨拶

代表 種坂英次

今春4月上旬から、六甲、葛城、生駒山系では数歩ごとに樹からぶら下がった毛虫に出くわしました。立ち止まると途絶えることのない葉を齧る不気味な音、完全に毛虫に包囲されているという心細さとともに、自然の中での自身の頼りなさを感じていました。やがて、近畿の複数地域で毛虫の大量発生がニュースとなり、地元自治体の農薬散布車もフル稼働となりました。マイマイガの仲間ということですが、数十年毎に大量発生する原因は不明なのだそうです。いくつかの要因が周期的に変動し、互いの波が重なった時、いわゆる共鳴するように大量発生するのでしょうか。長期にわたる観測が必要でしょうが、これも自然を相手にする、一般に「悠長な」と言われる研究の楽しさであるような気がします。

本年度も会員皆様の興味深い研究活動に触れる機会を楽しみにしております。

### 1. 活動報告

研究会および総会

平成24年度近畿雑草研究会は2012年11月17日(土)に京都大学北部キャンパス農学生命科学研究棟1Fセミナー室にて「第7回除草剤抵抗性雑草研究会・平成24年度近畿雑草研究会合同研究会」として開催された。

### ～研究会～

殺ダニ剤抵抗性の現状と展望

刑部正博(京都大学農学研究科)

農業害虫であるハダニ類では、世界的に薬剤抵抗性の発達が著しくかつ複雑化している。特に近年では、単一薬剤による選抜が化学構造や作用機作が無関係と考えられる複数のタイプの薬剤との交差が示唆されている。講演では、殺ダニ剤抵抗性研究の現状を紹介し、エトキサゾールとヘキシチアゾクス、またシエノピラフェンとピリダベンについて、抵抗性遺伝子の連鎖や代謝酵素の影響などこれまでの知見を紹介した。後半では、抵抗性遺伝子の拡散機構に関連して、環境条件や生物的特性による個体群の遺伝的構造の違いについて議論し、また最近のゲノム解析に基づく薬剤抵抗性研究の展望について、エトキサゾール抵抗性を例に紹介し、議論した。

兵庫県における雑草防除研究のこれまでとこれから —水田雑草を例に—

須藤健一(植調兵庫)

兵庫県内で問題となっている水田雑草を把握するため、30年前から県下全域の水田雑草発生状況を調査してきた。その結果から、ウリカワやマツバイが激減し、アゼナ類やホタルイ、クログワイ、キシユウスズメノヒエなどの難防除雑草が広がっていることが示され、除草剤(SU剤)抵抗性雑草の繁茂や帰化雑草

の侵入などの問題点も指摘された。県ではそれらの問題に対応するため、新規除草剤の効果を検証しながら「雑草防除指導指針」を作成・改定してきた。同時に、SU剤抵抗性雑草の検定と対処方法の指導、キシユウスズメノヒエなどのイネ科多年性雑草の生態や防除法の検討、フロアブル剤の拡散性の検討、無除草剤栽培時の問題点などについて議論した。

### 雑草の二次代謝産物研究のこれまでとこれから

森本正則（近畿大学農学部応用生命化学科）

雑草の二次代謝産物研究は、生理活性物質探索や他感作用物質の候補物質探索として実施されてきた。他感作用（アレロパシー）研究については、最近の化学生態学研究に対応するために、植物の生産する化合物の環境中での変化や植物中での局在などを考慮した研究のアプローチの重要性を示した。主にカヤツリグサ属植物の生産する化合物の生体防御物質としての機能性や化学分類への二次代謝産物の利用の可能性などを示した。さらに学会の中で自身に関わる化学分野と生物分野の共同研究を紹介した。研究の着眼点や展開について、若手研究者へメッセージを伝える目的で、自身の約20年間の研究内容について紹介した。

### ～総会～

#### 会計報告等

2012年11月17日に開かれた近畿雑草研究会総会において承認された、平成23年度の収支決算報告・会計監査報告ならびに平成24年度予算案を、以下に転載します。

#### （1）平成23年度収支決算報告

（会計年度：平成23年4月1日

～平成24年3月31日）

#### 収入の部

科目	金額（円）
前年度繰越金	251,202
会費	32,000
利子	64
合計	283,266

#### 支出の部

科目	金額（円）
振込料金加入者負担	520
現地見学会開催費	41,850
講演会講師旅費・謝金	25,000
講演会会場補助員謝金	2,400
通信費	2,450
合計	72,220

差引残高 211,046 円。

残金は次年度に繰り越します。

上記の通り、相違ありません。

平成24年11月17日

平成23年度庶務・会計幹事

三浦 励一 ㊟

#### （2）平成23年度会計監査報告

平成23年度の近畿雑草研究会の会計に関し、会計帳簿、証拠書類（領収書、会費受付記録等）および預金通帳を検査照合した結果、収支とも適正に執行され、決算書に適正に表示されていることを認めます。

平成24年11月17日

会計監査 大橋善之 ㊟

会計監査 中井 譲 ㊟

(3) 平成 24 年度予算案

(会計年度：平成 24 年 4 月 1 日  
～平成 25 年 3 月 31 日)

収入の部

科目	金額 (円)
前年度繰越金	211,046
会費	34,000
本学会助成金	0
合計	245,046

支出の部

科目	金額 (円)
講演会費	5,000
事務・通信費	6,000
振込手数料加入者負担	3,000
予備費	231,046
合計	245,046

(4) 平成 25 年度研究会・総会

2013 年 11 月に近畿大学農学部（奈良市）にて開催の予定。

～お知らせ～

宝塚ファミリーランド・宝塚植物園を継承する「宝塚ガーデンフィールズ」が、本年をもって閉鎖されることになったそうです。近畿地方の植物分類学者・植物園関係者有志が、温室を含む旧植物園を植物園として維持し、文化遺産・教育施設として有効活用していくことを宝塚市などに訴えるため、賛同者を募っています。ご興味がおありの方は「宝塚植物園を未来につなげる会」設立趣意書をもらってください。

URL : <http://www5d.biglobe.ne.jp/~kongo3/tbg/tbg-sien.htm>

ですが、会の名前で検索しても出てきます。

(三浦励一)

発行 近畿雑草研究会

代 表 種坂英次 (近畿大学農学部)  
庶務・会計幹事 森本正則 (近畿大学農学部)  
E-mail : masanori@nara.kindai.ac.jp

事務局 京都大学大学院農学研究科  
雑草学分野  
〒606-8502  
京都市左京区北白川追分町  
電話・ファックス : 075-753-6062